



〔設立10周年記念〕

「科学技術・イノベーション政策2019」発表会

主な府省庁の平成31年度予算に見る

●日時: 2019年1月29日(火) 12:30~18:30

●場所: 学士会館 2階210号室

入場無料

2018年のノーベル生理学・医学賞に日本人で2年振りに受賞した本庶佑京都大学特別教授も繰り返し「基礎研究にもっとお金と人材を投入すべきだ」の一点張りだ。ノーベル賞受賞は今から20年、30年前の世代だから、まだ日本には蓄積がある。だが、現在、効率化投資が浸透し、政府、企業とも基礎研究を大幅に縮小した。基礎研究と応用研究の連結は、もはや海外が中心で、日本は在来品目を生真面目にこなすだけとなってしまった。

こうした世界での劣勢を挽回するため、政府は第5期科学技術基本計画の4年目で、各府省庁のSociety5.0計画は本格化しており、AI（人工知能）、IoT、ビッグデータなど最先端事業が具体化している。民間では、自動車業界の技術開発競争が本番を迎えている。トヨタ自動車とソフトバンクグループの提携に見られるように、IT業界との提携戦略が花盛りである。大きく浮上してくる課題は、①自然災害復旧と新公共事業投資②原子力廃炉技術とエネルギー転換③国際的な分野調整④各府省庁間あるいは官民の共同研究・事業一など。広い意味でエンジニアの世代交代期を迎えた人材育成問題も大きい。史上最大の内部留保をどう生かすのか、日本から画期的なイノベーション開発を発信できるか、文字通り、「正念場」を迎えている。

◆説明府省◆

**内閣府(内閣官房)、総務省、
文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省、
国土交通省、環境省、防衛省**

◆説明内容◆

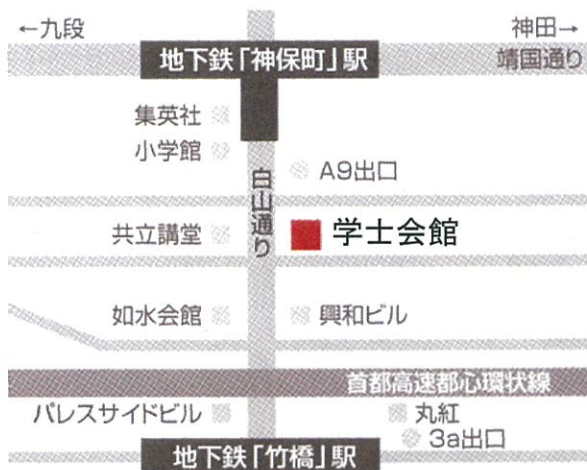
「平成31年度における科学技術・イノベーション政策への各府省庁の取り組み」
(平成31年度の当初予算額、新規政策、継続重点政策と今後の対策など)



●日時:2019年1月29日(火) 12:30~18:30 ●場所:学士会館 2階210号室

◆発表会の概要◆

- 12:30 開場
13:00~13:30 ・開会 橋田忠明副会長兼専務理事
・司会 林裕子山口大学大学院技術経営研究科特命教授
・主催者挨拶 白井克彦会長(早稲田大学名誉顧問(元総長))
・来賓挨拶と概況説明
赤石浩一内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション・原子力担当)
- 13:30~15:30 4府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)
13:30~14:00 内閣府(内閣官房)
14:00~14:30 総務省
14:30~15:00 文部科学省
15:00~15:30 厚生労働省
- 15:30~15:40 <休憩>
15:40~18:30 5府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)
15:40~16:10 農林水産省
16:10~16:40 経済産業省
16:40~17:10 国土交通省
17:10~17:40 環境省
17:40~18:10 防衛省
18:10~18:30 総括コメント



【アクセス】学士会館
東京都千代田区神田錦町3-28
TEL: 03 - 3292 - 5936 (代表)

参加費:無料
※先着順

<お申し込み> 下記項目にご記入の上、FAXまたはeメール(motoffice@motjp.com)で、
2019年1月22日(火)までにお申し込み下さい。

- 氏名: _____ ●役職: _____
●所属: _____
●住所: _____
●電話番号:() - _____ ●FAX番号:() - _____ ●eメール: _____

